

研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

大阪精神医学研究所新阿武山病院、大阪河崎リハビリテーション大学では下記の研究に取り組んでいます。研究に関するご質問および研究への参加を希望されない場合にはお申し出ください。

研究課題名 (承認番号)	COVID-19 パンデミックがアルコール依存症者の身体状態、精神状態に与えた影響 承認番号 (大阪精神医学研究所新阿武山病院) (大阪河崎リハビリテーション大学 OKRU-RA0106)
研究組織	研究責任者：大阪河崎リハビリテーション大学 教授 堺 景子 共同研究者：大阪医科薬科大学神経精神医学教室 助教 大西 尚哉 共同研究者：大阪精神医学研究所新阿武山病院 公認心理師 清水 達哉 共同研究者：大阪精神医学研究所新阿武山病院 院長 岡村 武彦 共同研究者：大阪河崎リハビリテーション大学 学長 武田 雅俊
本研究の目的	新型コロナウイルス感染症流行下において、一般人口におけるアルコール摂取量は減少したと世界中で報告されています。しかし、アルコール依存症者においては厳しい外出制限により、病院受診や自助グループへの参加は困難であったと推測されます。今回の調査では、新型コロナウイルス感染症流行前後でアルコール依存症と診断された方の心身の状態がどのように変化したかを調べることで、このような災害時に必要な医療、心理社会的治療を検討する目的があります。
調査データ 該当期間	2019年4月7日から2019年7月7日 2020年4月7日から2020年7月7日 2021年4月7日から2021年7月7日 2022年4月7日から2022年7月7日 2024年4月7日から2024年7月7日の期間の情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる方 上記期間内に大阪精神医学研究所新阿武山病院 6 病棟に入院された方 ●利用する情報 入院時に測定した WHO-QOL26 の結果、血液検査データ、および聴取した病歴を利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	情報等を大阪河崎リハビリテーション大学に提供します。この際、データにはパスワードを設定し、USB に記録して提供します。同大学の研究責任者は堺景子です。
利用又は提供を開始 する予定日	提供開始予定日：2025年 7月 1日から
個人情報の保護	個人が特定される情報は全て削除します。情報は厳重に管理し、漏洩することはありません。また、研究目的以外に使用することはありません。研究参加は自由意思であり、不参加の場合でも不利益はありません。本研究は大阪河崎リハビリテーション大学および大阪精神医学研究所新阿武山病院の研究倫理審査委員会の承認を得た上で実施いたします。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
データの利用に 同意されない場合と その申し出の期限	データの利用に同意されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、個人を特定する情報は全て削除するため、データの利用に同意されない場合、申し出期間を過ぎてのお申し出の場合はデータを削除することはできません。 申し出期間： 2025年3月1日から2025年3月31日まで
お問い合わせ先	大阪河崎リハビリテーション大学 教授 堺 景子 電話：072-446-6700 (代) Mail：sakaike@kawasakigakuen.ac.jp (「@」を「@」に変換してください。) 〒597-0104 大阪府貝塚市水間 158
備考	